

キャリア・ナビゲーション 土木学生が土地活用を議論 東北工大 まちづくりGWを実施



キャリア・ナビゲーション（東京都文京区長嶋哲夫代表取締役）は、東北工業大学（渡邊浩文学長）の土木学生を対象とする「新入生オリエンテーション」未来のエスキースを描く。」と題したガイダンスを行った。

入学した1年生63人が土地の活用方法を議論した。

冒頭、同社マーケティング統括部の平佳樹部長から会社紹介を行い、続けて建設産業の説明と、良い大学生活を過ごすためのアドバイスを行った。

冒頭、同社マーケティング統括部の平佳樹部長から会社紹介を行い、続けて建設産業の説明と、良い大学生活を過ごすためのアドバイスを行った。

学生たちが出した意見では、コンビニ、遊び場施設、ドッグラン&カフェ、泉ヶ岳スキー場の帰りに立ち寄る道の駅や休憩施設、グランピング施設、伐採で出る木材を利用した子ども連れのファミリー層向けの複合施設など具体的なイメージ

「限られた土地をどう使うかの意見がたくさん出た。また、ほかの班の意見も聞けて良かった」と「まちに必要な施設」という視点で考えたと意外と難しいと思ったなどと、グループワークは盛り上がりを見せた。

だといふことを忘れないでほしい。さまざまな会

に、周辺地域の状況などを踏まえ、どんな活用方法があるかのアイデアを自由に出し合った。

い」と期待を込めた。

社、業界を見て建設産業の理解を深めてもらい、ミスマッチが起らないように就職してほしい」とエールを送った。

その後は、まちづくりグループワークを10班に分かれて実施。仙台市泉区福岡の土地を対象に、周辺地域の状況などを踏まえ、どんな活用方法があるかのアイデアを自由に出し合った。

学生たちが出した意見では、コンビニ、遊び場施設、ドッグラン&カフェ、泉ヶ岳スキー場の帰りに立ち寄る道の駅や休憩施設、グランピング施設、伐採で出る木材を利用した子ども連れのファミリー層向けの複合施設など具体的なイメージを持ったアイデアも挙がった。

参加した学生からは「限られた土地をどう使うかの意見がたくさん出た。また、ほかの班の意見も聞けて良かった」と「まちに必要な施設」という視点で考えたと意外と難しいと思ったなどと、グループワークは盛り上がりを見せた。

今回出たアイデアをもとに、キャリアナビゲーションが市区町村などの関係機関に提案を行い、採用可能な場合は今後のプロジェクトとしてインターンシップなどに活用していきたい考えだ。

課程長の菊池輝教授は「他の人の意見を聞いた、自分たちの意見を伝えたり、チームを組んで仕事することが普通。こうしたトレーニングを積んでコミュニケーション力を鍛えてもらいたい」と期待を込めた。